



I-OWA マンスリー・セミナー講演より 和風企業経営と資産運用

講演：岡本 和久
レポーター：赤堀 薫里

和風企業経営と資産運用のお話をします。欧米だけでなく、日本もそうですが、企業経営がすごく短期視点で、しかも、自社だけ良ければいいというところが増えてきているように感じます。また、資産運用についても同じようなことが言えます。

できるだけ早く、できるだけたくさんもうけたい。しかも、できるだけ安全に。これは、もともと無理な話です。しかし、そういうことを望んでいるケースが多くなってきている。それが、さまざまな問題を引き起こしている気がします。それに対する答えが「和風」、昔ながらの日本にあるような企業経営の考え方だとか、あるいはそれを応用した資産運用に答えがあるのかなと思っています。

商人の倫理と行動基準



© Kaz Okamoto, 2020. All rights reserved. Fiduciary and Independent Wealth Advisors, NPO I-O Wealth Advisors, Inc. 23

江戸豪商の経営思想の根本は、「奉公・分限・体面」と「才覚・算用・始末」。そして「三方よし」に基づいて、お金と心とモノの3つの関係をうまく調和して、「永代蔵」を築き上げていく。簡単に言えばこれが江戸豪商の経営思想の基本です。少しずつゆっくり着実に。この辺は今の経営思想と相当、大きく違う気がします。

日本には長寿企業がたくさんあります。なぜ長寿の企業が多いのか。一つは日本人が持っている「和」の心。異質の物を受け入れていく。そしてそれをうまく調和していく精神。これが「和」です。日本は島国で他から侵略されることが少なかった。長い歴史の中で代々続けていくことの重要性を大切にしていた。そのような要素がいろいろあります。

和風資産運用が、どうつながっていくのか、投資とは企業を保有することです。投資の哲学はそのまま企業統治になります。企業経営哲学は投資のリターンとして返ってきます。この間で、投資家サイドと経営者サイドの理念にギャップが大きくあってはいけません。企業経営として「三方よし」という素晴らしい思想があり、それに基づいて経営がされていても、投資家側で、あまりに短期で儲け





長期投資仲間通信「インベストラ이프」

たいという期待が大きくなるとよくない。また、逆でもうまくいかない。長期投資で100年200年世の中に尽くしてくれる企業を買いたいと思っても、多くの企業経営が短視的なショートターミズムになっていると、これも合わなくなってくる。

企業経営と投資家の期待は車の両輪みたいなもので、企業経営哲学と投資哲学がうまく合っていないといけないのだろうと思います。そういう意味で和風の企業経営と和風の投資手法が広まっていけば良いなと思います。

「和」という言葉には多様性と調和性という二つの意味があります。また、「永代」という考え方や「知足」という思想もあります。二宮尊徳先生が言っていた「積小為大」。小を積んで大と為す。大きく儲けなくて小さく儲けて、それを長く続けていくことによって大きな富を得て、「永代蔵」を作ることができる。その支えになっているのが「もったいない」や「おかげさま」という考えです。

これをポートフォリオの運用に当てはめてみますと、多様性とはまさに「分散投資」です。調和は自分のライフプランに合った「資産配分」です。永代というのは「長期投資」です。知足というのは「インデックス投資」。インデックス運用とは市場全体のパフォーマンスをとっていくということ。それ以上のパフォーマンスをあげるためには、他の人のリターンを自分の方に奪ってこない、市場平均以上にならない。インデックス運用は調和的な知足の精神の現れです。積小為大はまさに「積立投資」。もったいないは、「コスト」に注意をしましょうということです。おかげさまは「グローバル投資」です。なぜなら、我々の生活は世界中の企業のおかげで成り立っている。生活を支えてくれている企業を、感謝を込めて応援する、そういう企業のオーナーになることによってサポートしていく。自分の生活を支えてくれる企業のオーナーになる。このような考え方を和風の資産運用の中で考えていくことができるのではないかと思います。

いろいろ日本的な要素には強みもあり弱みもあります。例えば農耕民族性ゆえに集団行動に走りやすい、定期的な収穫を期待するなどはその例でしょう。とはいえ、やはり今の欧米社会の中で、または欧米流に浸食された現代社会の中で、もう一度見直したり考え直したりする必要がある分野ではないかと思います。

講演では和風DNAを生みだした要因を、国土、気候、生活や歴史から紐解き、解説してくださいました。また、商人道、エドノミストの思想、商人たちの行動を理論化、体系化していった経緯の説明などの解説をしてくださいました。